

# 平成27年度事業実績報告

「京都伝統文化の森推進協議会」は、京都東山の国有林（「東山風景林」約190ha）を活動拠点として、京都に根付いた自然と共生する日本の伝統文化を復活し、全国に発信するべく、京都の貴重な歴史的、文化資産を継承し、日本文化を再生する森づくりを進めるために設立された。

協議会の目的に賛同する学識経験者や民間団体、行政機関等が参画し、京都三山の文化的価値について、情報を整理し発信する「文化的価値発信事業」に取り組むとともに、東山風景林の長期的な森林づくりの方向を議論し、具体的な森林整備を実施する「森林整備・景観対策事業」などに取り組んだ。

## 1 会議の開催

名 称		開 催 日	場 所	委員等 参加者
役員会		平成27年7月9日（木） 午前9時～午前10時	ルビノ京都堀川 「松」	5名
総会		平成27年7月9日（木） 午前10時30分～正午	ルビノ京都堀川 「平安」	16名
森林整備・ 景観対策 専門委員会	第1回	平成27年6月25日（木） 午前9時30分～午前11時30分	職員会館かもがわ 第1会議室	5名
	第2回	平成27年12月21日（月） 午前10時～正午	職員会館かもがわ 第2会議室	5名
文化的価値 発信 専門委員会	第1回	平成27年6月28日（日） 午前10時～午前11時30分	京都大学稲盛財団記念館 小会議室	7名
	第2回	平成28年2月20日（土） 午前10時～午前11時30分	京都大学稲盛財団記念館 小会議室	5名

## 2 文化的価値発信事業

### （1）公開セミナーの開催

#### ア 第13回公開セミナー「森とあそび」

日 時 平成27年6月28日（日） 午後1時から午後5時まで

場 所 京都大学稲盛財団記念館 3階大会議室

参加者 54名

内 容 第1部 講演及びパフォーマンス

講演① 森と響き～由良川シンフォニーの制作と森の音

小松 正史 京都精華大学教授（聴覚生態学・音楽家）

講演② 森の“声”を聴くプラントロンとメディアアート

銅金 裕司 京都造形芸術大学教授（現代美術・メディアアート）

講演③ 森の映像

大西 宏志 京都造形芸術大学教授（情報デザイン・アニメーション）、  
京都伝統文化の森推進協議会 文化的価値発信専門委員

パフォーマンス 紙芝居「千樹の花がひらくとき」

くーだら劇団 京都造形芸術大学学生有志

第2部 総合討論

コーディネーター 鎌田委員長

パネリスト 小松教授、銅金教授、大西委員

イ 第14回公開セミナー『戦国期の山城 ～京都東山「北白川城跡」の見学～』

日時 平成27年10月21日（水） 午後0時30分から午後5時まで

場所 狸谷山不動院 ～ 瓜生山（北白川城本丸跡ほかを巡り）～ 北白川仕伏町（バプテスト病院側）へ下山 ～ 瓜生山不動明王見学

参加者 42名

講師 梶川 敏夫 京都伝統文化の森推進協議会 文化的価値発信専門委員

内容 京都東山の文化的価値を発信するために、瓜生山周辺（京都造形芸術大学東方山中一帯）にある戦国期の山城跡を巡る見学会を実施した。

ウ 第15回公開セミナー「京都の聖山と信仰」

日時 平成28年2月20日（土） 午後1時10分から午後5時まで

場所 京都大学稲盛財団記念館 3階大会議室

参加者 122名

内容 第1部

基調講演 東山三十六峰と信仰

鎌田 東二 京都大学こころの未来研究センター教授

京都伝統文化の森推進協議会長、文化的価値発信専門委員長

講演① 大本山狸谷山不動院と開山・木食養阿上人（木食正禅朋厚）」

松田 亮海 大本山狸谷山不動院 貫主

講演② 京都東山に築かれた山城と瓜生山の北白川城跡

梶川 敏夫 元京都市文化財保護課長、京都女子大学非常勤講師

京都伝統文化の森推進協議会 文化的価値発信専門委員

講演③ 京都三山と聖地～パワースポットの形成と山と水の関係～

丘 眞奈美 京都ジャーナリズム歴史文化研究所代表

京都伝統文化の森推進協議会 文化的価値発信専門副委員長

第2部

総合討論

コーディネーター 鎌田委員長

パネリスト 松田貫主、梶川委員、丘副委員長

(2) 森の映像の制作

「森の人」というテーマで、森林を取材するため京都三山を訪れた外国人が、森の価値を高めようと活動する人々から、京都三山の森について学んでいくストーリー

（依頼先 株式会社 Good People 代表取締役 阪原 淳）

## 2 森林整備・景観対策事業

### (1) 林相改善事業

東山風景林の清水山地区、高台寺・正法寺地区、将軍塚地区の3箇所において、景観、治山、地域生態系に配慮した計画で林相改善事業を実施した。

#### ① 計画立案及び監理業務

委託先 特定非営利活動法人 森林再生支援センター

#### ② 森林施業

○清水寺地区及び高台寺・正法寺地区（委託先 植彌加藤造園株式会社）

##### ・清水山地区

伐採等	コシイ等の伐採	63本
植栽等	イロハモミジ	12本
	オオモミジ	6本
	ヤマザクラ	16本
	カスミザクラ	6本

##### ・高台寺・正法寺地区

伐採等	コシイ等の伐採	24本
植栽等	新たな植栽は行わない。	

○将軍塚地区（委託先 有限会社山城園）

伐採等	コシイ等の伐採	20本
	ヒノキの間伐	11本
植栽等	イロハモミジ	6本
	ムラサキシキブ	3本
	ナナカマド	3本

### (2) 除伐活動（東山で森づくり）

毎年度実施している、のこぎりや剪定ばさみを使った森林の手入れ（サカキ、ヒサカキ、シイ、クロバイ、シロバイ等の常緑中低木の伐採）である除伐活動を清水寺地区及び将軍塚地区でそれぞれ1回実施した。

#### ① 第5回清水寺地区の森づくり

日時 平成27年5月20日（水） 午前9時30分から正午まで

場所 集合 清水寺東側入口（子安の塔東側）周辺広場

整備箇所 東山風景林の清水山山頂周辺

内容 清水山山頂周辺に存在する常緑中低木を除伐し、林内の見通しをよくすることができた。

参加者 28名

#### ② 第3回将軍塚地区の森づくり

日時 平成27年5月27日（水） 午前9時30分から正午まで

場所 集合 東山山頂公園駐車場 青龍殿側

整備箇所 東山風景林の将軍塚周辺の京都一周トレイル沿い

内容 将軍塚の北側、京都一周トレイル沿いに存在する常緑中低木を除伐し、安心して通行できる歩道と明るい森林が形成された。

参加者 33名

### (3) 林相改善事業の案内板の設置

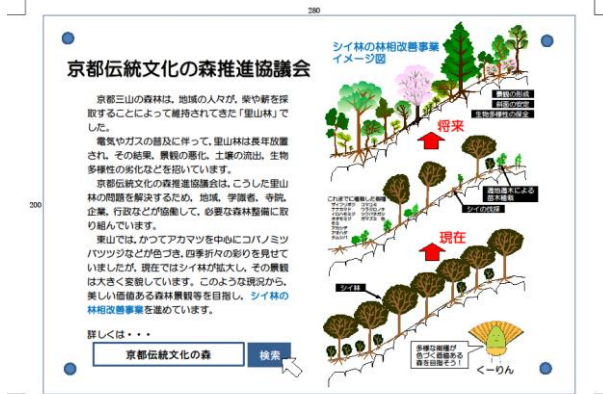
シイ林の林層改善事業の取組を現地で紹介するため、案内板2基を設置した。

場所 清水山地区及び將軍塚地区の林層改善事業地  
京都一周トレイル沿い

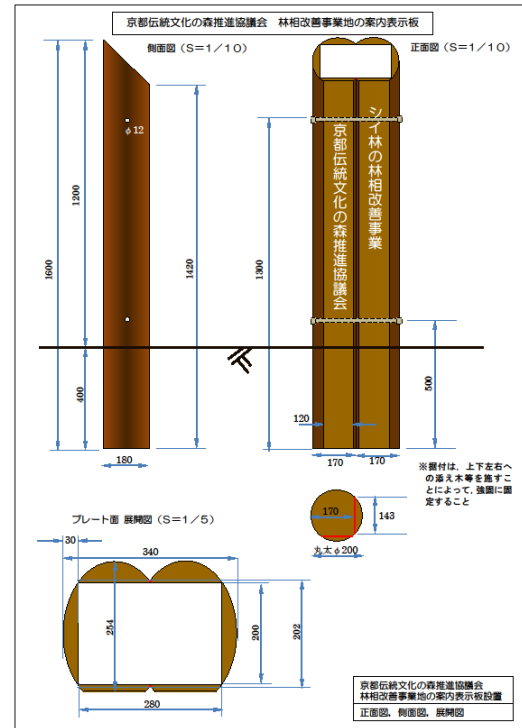
仕様 高さ1m程度(右図参照)  
幅340mm, 奥行き180mm

表示内容

シイ林の林相改善事業について、イメージ図などで解説し、詳細については、ホームページで確認してもらうよう表示している。(下図参照)



表示



図面

### 3 文化的価値発信及び森林整備・景観対策の合同事業

#### (1) ホームページの運営 (<http://www.kyoto-dentoubunkanomori.jp>)

#### (2) 啓発キャラクター紙芝居原画の展示

日 時 平成27年6月16日(火)～平成27年6月26日(金)  
場 所 京都市役所本庁舎1階正面玄関ロビー  
内 容 協議会啓発キャラクター「紙芝居」ストーリーコンペティション(平成26年度事業)で採用された作品の原画を展示した。キャプションは、文化的価値発信専門委員会の大西委員及び京都造形芸術大学の学生が作成した。併せて、協議会の活動パネルを展示した。

#### (3) 第5回落第忍者乱太郎「京都の森を守ろうウォーク」大文字を間近で見よう!

日 時 平成27年7月25日(土)  
午前9時～午後2時  
場 所 左京区鹿ヶ谷, 浄土寺(大文字山周辺)  
法然院正門前(スタート) → 法然院の森 → 銀閣寺山国有林 → 大文字火床 → 四季・彩りの森づくり現場 → 如意寺寶厳院跡 → 楼門の滝 → 法然院正門(ゴール)(全長約3km)  
参加者 109名  
主 催 京都伝統文化の森推進協議会, 京都市, 朝日新聞社, 朝日小学生新聞, 林野庁京都大阪森林管理事務所, 公益財団法人京都市森林文化協会, フィールドソサイエティー  
内 容 京都のお盆の伝統行事「五山送り火」で知られる大文字山の周辺で, ナラ枯れ跡地の森づくりの現場の見学をはじめ, 森の成り立ちやそこに生息する生き物(樹木, 昆虫, 鳥類)を知る紙芝居やフィールドビンゴゲームなどを交え, 森を守ることの大切さを学ぶスタンプラリー方式のウォーキングイベントを開催した。

#### (4) 水土里フェスタ2015(出展)

日 時 平成27年8月19日(水)午後4時～平成27年8月27日(木)正午  
場 所 ゼスト御池 地下街「市役所前広場」  
主 催 京都府土地改良事業団体連合会, 京都府森林組合連合会  
内 容 「水土里(みどり)フェスタ」は, 水を育む森林や農山村における営みなどについて啓発を図ることを目的としており, 協議会も連携し, 京都三山の現状や協議会の活動内容のパネル展示を行った。

#### (5) 水都おおさか森林の市2015(出展)

日 時 平成27年10月4日(日)  
午前10時～午後4時  
場 所 大阪市北区桜ノ宮  
近畿中国森林管理局, 毛馬桜ノ宮公園  
来場者 約100名  
主 催 水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会  
内 容 「森林の市」は, 森林の恵みや木に触れることで, 森林と人とのつながりを実感し, 森林・林業の役割と意義, 農山村の現状について理解を深め, 豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくこと, そして, 来場者をはじめ出展者の交流の場となり, 相互に理解

と連携を深め、森林・林業における活力の醸成の場をつくることを目的としている。

協議会では、ブースを出展し、パチンコづくりや石ころならぬ「木ころ」づくりなどの木工体験、協議会の活動を紹介するパネル展示を実施した。

#### (6) 第15回東山クリーン作戦

日 時 平成27年10月21日(日)

午前10時～正午

場 所 東山山頂公園とその周辺

参加者 17名

主 催 林野庁京都大阪森林管理事務所、京都伝統文化の森推進協議会

内 容 東山山頂公園とその周辺において、西日本旅客鉄道(株)の協力を得て、清水門前会、祇園商店街振興組合が参加し、清掃活動を行った。

空き缶、ペットボトル、塗料缶、ソファ、古タイヤ、車の座席などが捨てられており、1～4班に別れ、260kgのごみを回収した。

#### (7) シイの木で木炭づくりと椎茸づくり

日 時 平成28年1月28日(木)

午後1時から午後2時30分まで

(午前10時20分 炭窯の点火)

場 所 高台寺山国有林 防火貯水槽横 管理道

参加者 26名

主 催 京都伝統文化の森推進協議会、公益財団法人京都市森林文化協会

講 師 高桑 進(京都伝統文化の森推進協議会 森林整備・景観対策専門委員長)

株式会社ピソアミス 松村氏 堂下氏(1級炭焼きマイスター)

栗田氏(2級炭焼きマイスター)

内 容 祇園商店街振興組合、京都森林インストラクター、朝日新聞社、東山区役所の関係者の皆様が参加し、林相改善事業のシイの伐採木に、シイタケの菌打ち作業を行った。

また、ドラム缶炭窯の炭焼きデモンストラーションを行った後、午前10時30分頃に点火しておいた炭窯の炭を取り出した。当日は、KBSの取材があり、これらの作業の現場とともに、林相改善事業の現場が撮影され、同日夕方のニュースで放映された。

#### (8) 京の森づくり技術者育成講座の開催(共催)

日 時 平成28年3月3日(木)

午前10時～午後4時30分

講 師 NPO 法人森林再生支援センター 常務理事 高田研一 氏

会 場(室内講習)京都市文化財建造物保存技術研修センター 第1,2会議室

(現場研修)高台寺山国有林(京都伝統文化の森推進協議会の林層改善事業区域)

参加者 25名(造林,造園,緑化に携わる方や関心のある方を対象)

主 催 京都市 公益財団法人京都市森林文化協会

共 催 京都伝統文化の森推進協議会

内 容 京都市が行う「京の森づくり技術者育成講座」において、「地図や現地を読み解く森林立地及び自然配植方法について」をテーマに、京都伝統文化の森推進協議会の林相改善事業区域において、現地研修が行われた。

森林資源の創出や森林景観の形成、森林土壌の流出防止など、健全で多様な価値を生み出す森林を復元するためには、森林の立地条件を理解し、「森が森をつくる」その手

助けをする手法や技術が必要となる。京都市では、これらの森づくりができる人材の育成を目指している。

#### (9) 第4回 四季・彩りの森づくり (共催)

- 名 称 適地適木で木を植えよう！ 出会いでつなぐ、京都三山の森&景観づくり
- 日 時 平成28年3月12日(土) 午前10時から正午まで
- 場 所 左京区鹿ヶ谷  
集合場所 左京区鹿ヶ谷徳善谷町円重寺前  
現地集合後、作業場所まで徒歩で20分程度移動
- 講 師
- ・ナラ枯れ跡地での苗木の植樹活動(アカシデなど約15種)  
京都伝統文化の森推進協議会 森林整備・景観対策専門委員 高田 研一 氏
  - ・左京区鹿ヶ谷の山中に眠る遺跡の解説  
京都伝統文化の森推進協議会 文化的価値発信専門委員 梶川 敏夫 氏
- 参加者 31名(京都洛東ロータリークラブ、京阪電気鉄道株式会社、一般参加)
- 主 催 京都市
- 共 催 京都伝統文化の森推進協議会
- 内 容 京都市が進める「四季・彩りの森復活プロジェクト」は、ナラ枯れ跡地における森林の再生を図るため、左京区鹿ヶ谷地域において、不用木の伐採、苗木の植栽、防鹿柵の設置等を行っている。今回は、その一環として、市民参加による植樹活動が行われた。